

第6回

プレゼンテーションに挑戦

講師

田邊 則彦

今回学ぶこと

今回は「プレゼンテーションの基本」「プレゼンに挑戦」「良いプレゼンとは」の3つのポイントを通して、「プレゼンテーション」について学習します。

番組では、「対象とテーマの選択」「メディアの選択」の重要性をプレゼンテーションの作成手順を学ぶ中で確認します。実際のプレゼンテーションを通して「上手なプレゼンのコツ」「ポスターセッションとスライド発表との違い」を知り、伝わるプレゼンを目指して「効果的なプレゼンテーションを実現するには」を学びましょう。

番組を見る前に知っておこう

メディア、ブレインストーミング、ディスカッション、
プレゼンテーション

プレゼンテーションって何？

プレゼンテーションとは「意見や主張を発表する活動」のことです。Web ページでも思いを伝えることができますが、今回扱うプレゼンテーションは、「対象に直接説明することができる」という違いがあります。資料を示しながら、視覚に訴えて主張したいことを相手に伝える方法の一つにポスターセッションがあります。研究結果などを発表するときによく使われます。発表者が、発表内容を図やグラフなどを用いてポスターとしてまとめ、会場で参加者を前にそのポスターを使いながらプレゼンおよび質疑応答するスタイルです。発表テーマに興味を持った参加者がスペースに集まった時点で発表が始まります。参加者は、疑問点などがあればその都度発表者に質問できるため、テーマによっては質疑応答が活発に繰り広げられる「ライブ感」のある発表方法となります。

番組では、高校生に「国連の持続可能な開発目標 (SDGs) の一つ教育制度」についてポスターによるプレゼンテーションをお願いしました。対象が何に興味を示すかを考えてポスターを制作することと、聞き手が足を止めてくれるようにする工夫がなされています。

スライドを使ったプレゼンテーション

これまでに何度も経験したスライドを活用したプレゼンテーションは、文字・写真・音声・動画などのメディアを統合でき、ダイナミックな発表ができます。次のことに気をつけて、スライドを使ったプレゼンテーションの作成をしてみましょう。

☆ 何を伝えるかを明確に

テーマ決めが大事

テーマのしぼりこみやアイデア出しにはブレインストーミングという手法が役立つ

☆ 構成は整理して分かりやすく

導入→展開→まとめのように、理解しやすい流れを作る

☆ 情報を盛り込み過ぎず、メディアを使って印象的に

文字・写真・音声・動画の素材を用意しよう

スライドを使ったプレゼンテーションでは、次の3つがポイントになります。

☆ リハーサルが重要！

入念なりハーサルを重ねよう

☆ 身振り手振りを効果的に！

身振り手振りや声の大きさ、声の抑揚、話す速度、話の間は？

☆ 質問や繰り返しで注目させる！

残り時間に柔軟に対応しながら、聞き手の反応を見て説明を繰り返したり質問を投げかけよう

スタジオでは、プレゼンテーションのあと活発なディスカッションが行われました。

☆ 対象とテーマは適切だったか

☆ メディアの選択は効果的だったか

☆ 評価はよしあしだけでなく改善点やアイデアを出す

新しいプレゼン手法～ズーミングプレゼンテーション～

1つの画面に全ての要素をレイアウトし、話すポイントにズームインして詳しい説明をし、全体の中での位置づけを明確にしながら発表するスタイルです。プレゼンの最後に行う質疑応答の時間では、ズーミングプレゼンテーションが威力を発揮します。想定される質問の場合は、関連した情報にズームインして回答すると説得力のあるやりとりにつながります。回答はできるだけ一言にまとめて、簡潔に答えるよう心がけましょう。

一番重要なポイントは、訴えたいことや対象に合わせて適切な方法を選択することです。さあ、次の発表ではポスターセッションをやりませんか？ スライドプレゼンテーション？ それともズーミングプレゼンテーション？